



平成 29 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 明治機械株式会社
代表者名 代表取締役社長 中尾 俊哉
(コード番号 6334 東証第二部)
問合せ先 総務部長 高工 弘
(TEL. 03-5295-3511)

通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

この度、最近の業績動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期通期業績予想（連結・個別）を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

また、平成 29 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたので、あわせてお知らせいたします。

記

I. 業績予想の修正

1. 連結

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,711	239	224
今 回 修 正 予 想 (B)	6,711	345	350
増 減 額 (B-A)	—	106	126
増 減 率 (%)	—	44.4	56.3
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	6,024	126	118

2. 個別

平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,641	232
今 回 修 正 予 想 (B)	6,641	340
増 減 額 (B-A)	—	108
増 減 率 (%)	—	46.6
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	5,906	109

3. 修正の理由

(1) 連結

① 売上高

売上高につきましては、通期業績予想の修正はありません。

② 営業利益、経常利益

損益につきましては、事業全般にわたるコスト削減諸施策の効果が功を奏し、特に産業機械関連事業において、中小規模プラント個別案件の予算設定と当該予算管理の徹底については、売上総利益率の大幅アップに繋がりました。これらにより、通期業績予想に対し営業利益、経常利益ともに増益となる見込みであります。

この結果、平成29年3月期の連結業績は、売上高6,711百万円、営業利益345百万円（前回発表予想値比44.4%増）、経常利益350百万円（前回発表予想値比56.3%増）を予想しております。

(2) 個別

① 売上高

売上高につきましては、通期業績予想の修正はありません。

② 経常利益

損益関係につきましては、主に前述の連結決算同様の理由により増益となる見込みであります。

この結果、平成29年3月期の個別業績は、売上高6,641百万円、経常利益340百万円（前回発表予想値比46.6%増）を予想しております。

II. 特別損失の計上

1. 投資有価証券評価損

当第3四半期連結会計期間において、当社が保有する「投資有価証券」に区分される投資有価証券について、実質価額が著しく下落し、その回復の可能性が低いと評価したため、減損処理による投資有価証券評価損87百万円を特別損失として計上する見込みであります。

なお、当社の有価証券の減損処理は、四半期洗替え法を適用しているため、平成29年3月期末日の時価により、特別損失の額が変動する場合、若しくは特別損失を計上しない場合があります。

2. 減損損失

当社の越谷工場の移転に伴い、当社が保有する固定資産（建物）について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、収益性の低下が認められたことから将来の回収可能性を検討しました結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額する予定であります。

これにより、当第3四半期連結会計期間において、減損損失9百万円を特別損失として計上する見込みであります。

(注)上記の予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上